

猫じやらし 佐藤晴美





KOBE MODERN CULTURE



音 樂

★ホルヘ・ボレット・ピアノリサイタル

11月4日(金) 19時 神戸国際会館

S 5 0 0 0 円 A 4 0 0 0 円 B 3 0 0 0 円

ボレットは現存する唯一のリスト直系の孫弟子で、表す最後のヴィルトゥオーゾ



ソ

と言わ
れる。
リスト
のコン
ソレーション(慰め)、全6
曲、孤独のなかの神の祝福、
葬送曲。他にショパンのバラード全4曲が予定され、その絶妙な演奏テクニック
が披露される。

10月15日(土) 19時

神戸フィッシュダンス・ホール

3 5 0 0 円

16日(日)

17

86年フランス「バニヨレ
国際舞踊振付コンクール」
勅使川原三郎賞し以
て準優

東京で

勝を受

り、

勅使川原三郎

後パリ

で準優

り、

勅使川原三郎

で準優

り、

</



ケン・ラッセル描く 狂気の「サロメ」

男色のサロメをワイルドは星の輪で包み月のベールをかけた。ビアズリーのさし絵がサロメを香水にした。『サロメ』の第一幕は「今宵の月はレモン色」と武士のふたりが恐ろしげに語り合うところから幕を開ける。「サロメ」は静かにしていきを呑む舞台劇。これは何度も禁止となつた。ありとあらゆる舞台女優がサロメを演じたがる。これほど美しい花は、女のあこがれ。しかも毒を持った花。この花にふれるとなちまち命をうばわれる毒花。これぞ女のあこがれ。それが何度も上演禁止。理由はあまりにもエロティック。もつときびしき理由は男の首に接吻。しかも死せる男の首に。さらに理由をつけられてサロメが男の死せる首を抱えたときサロメの白い上着のうらがめくれるやその上着の裏の白い布は真赤な血で染まり、血をするがごときサロメ。英國はきびしく「サロメ」をいましめ「サロメ」を英國から追放しようとした。

そのサロメが映画では、セダ・バラ、ナジモヴァ、リタ・ヘイワースその他さまざまのサロメとなって登場したが実はそのどれもが遠くワイルドに描く「サロメ」ではあり得なかつた。ナジモヴァの「サロメ」(一九二三)を私は神戸新開地の松本座で見た。このころアメリカのユナイット映画を松本座がひとところ独占していた。この

「サロメ」は美しかつた。ヴァレンティノ夫人で舞台美術家のナタアシャ・ラムボウがナジモヴァとレズビアンの仲となりナジモヴァの「椿姫」(一九二一)もナタアシャのセット美術デザインに依つた映画。とくにナジモヴァの「サロメ」はバレエ・スタイルで、かつてこれまでのざんしんなセット・デザインと衣裳はダグラスの「バグダッドの盗賊」(一九二四)くらいのものであろう。けれどもこのナジモヴァの「サロメ」にしても当時のモダン・アート美術に酔つただけで、しいて言えばヨハネがまったくのセクシー・ムード・ゼロの枯葉のごとき男をもつてヨハネにしていたことが面白かつたらしい。「偉大な生涯の物語」(一九六五)はジョージ・スティーヴンスの監督大作だったがこのときのヨハネはチャールトン・ヘストンでサロメは小さなといいたい走り回つている女の子であった。ステーヴンスはサロメ



ヘロデ王と王妃ヘロデア



を冷静な目でまともに描き、遠くワイルドの「サロメ」か
らかけ離れたサロメ・リアリズムであった。さて今回
はその名を聞くも楽しくもおそろしきイギリス生れのケン・ラッセル監督の「サロメ」（一九八七）。これを輸入したヴェストロン社に感謝したい。ここにサロメは実体をさけだした。九十五年まえオスカー・ワイルドは「サロメ」を書いた。このあと四年フランスに逃れたが、ワイルドは同性愛というよりも貴族の息子との男色関係で二年の監獄生活のあとフランスに逃れ、パリで死亡した。

男であるワイルドが相手を愛することを男のゆえに法の手で許されなかつたワイルドは「サロメ」を執筆し

た。いくら愛しても許されぬ愛ゆえにその男の首を切
り、ここに思う一念その首に接吻し得たが、そのとき義父のヘロデがサロメを狂氣したと叫び、武士たちの橋で死させた。大正の初め私は神戸の聚樂館で松井須磨子のサロメを見た記憶がある。このあと須磨子は自殺したはずだ。小学一年生になるやならずの私はこの舞台でサロメが六名くらいの武士の橋にとりかこまれ次第に押されに押され押しつぶされて武士たちの足もとに倒れて、ころげ回つて苦しみうめき死ぬそのときの彼女のキラキラ光ったみどり色の衣裳それが男たちの足のあいだから見えたのがこわかった。

サロメはオペラにもなり舞踊もあり、東京でジジ・ジャンメールの「サロメ」を見たときはサロメがヘロデの命令で踊りながら七枚の衣服を脱ぎ捨てるところを満月にかかつた七枚のうす絹の雲が踊りにあわせ一枚づつ地上に落ちてくる演出が面白かった。

さてケン・ラッセルの「サロメ」は、まさに少年とか思えないイモジエン・ミライスリストという異様な若いチングラめいた新人女優を使い、彼女はしかし、見事にワイルドの「サロメ」の名台詞をしゃべりながらもその鼻の下にはうすひげが感じられ、これまでのサロメの妖美は根こそぎもぎとられヘロデの前で、皮をむいたバナナを口にほおばるところのわいせつさ、そして母のヘロデや、このひとだけはケン・ラッセルお気に入りのグレンダ・ジャクソンが扮し、この映画の構成は、いかがわしき男娼の館にワイルド自身が登場し、彼が自分の「サロメ」の舞台を床の上のクッションにからだをのばし演出家として見物するスタイルをとり、彼がこの家で少年と接吻するところまで見せ、「サロメ」第一幕の「今宵の月はレモン色……」というその書き割りの月も真赤にしたり、そして鉄かごの中から引きあげられたヨハネはワイルド自身をメイキヤップさせたごときヨハネ。

ビアズリーのパリの香水デザイン、月下の妖花のごとき、このサロメをケン・ラッセルは少年サロメがヨハネの大切なところまで切り落させたのではと思えるほどのこれは映画であった。

ワイルドと皿の上のヨハネ

匠・藤吉。人気の秘密はあります。うだ。おでんのネタは60種余り。大根、里芋、ごぼう天など、いくらでも食べられるから不思議。ユニークなネタも続々登場で、茶わん蒸、串かつまでおでんななつてしまう。「素食」



あっさり薄味がお酒にピッタリ



お洒落な店内



写真は¥2980のコース

で「心 やいん ふ 係ま花し」

いつても、肝心の肉の量にものたりない思いをしたものも多いはず。「花心」

居酒屋、炉端焼で賑わう北長狭通のあじびる〃

しゃぶ花心。しゃぶし

やぶ、すきやき、焼肉、

鉄板焼：とお肉の食べ放題メニューが多彩にそろっている。

一口に『食べ放題』とい

ても、肝心の肉の量

にものたりない思いをした人も多いはず。「花心」

● 神戸 お撰めスポット しゃぶ花心

内料理

神戸市中央区北長狭通1-4
あじびる三宮4・5F
平日16:00~21:00 土・日祝
12:00~21:00 年中無休

は自慢の山形牛をはじめ、良質の肉をたっぷり用意しているので安心。こだわりの味の結実——特上和牛の味をどうぞ！

食べ放題は1980円より、飲み食べ放題は400円より、いずれもしゃぶしゃぶ・焼肉・鉄板焼、4

食べ放題は1980円より、飲み食べ放題は400円より、いずれもしゃぶしゃぶ・焼肉・鉄板焼、4

尚、同店では数々の特典を集めた「グルマンド

・クラブ」を新たに発足。入会金は千円、有効期間は1年間。入会は直

接同店で。

しゃぶ花心から「ミックスコ

ース（しゃぶしゃぶ・焼肉）

¥1980を3名様で5組にブ

レゼント。希望者は住所・氏名

・年令・

・性別を記入して月刊

神戸っ子

■ 中央区北野町1-3 新神戸オリエンタルパークアベニュー3F

262-2800

は自慢の山形牛をはじめ、良質の肉をたっぷり用意しているので安心。こだわりの味の結実——特上和牛の味をどうぞ！

食べ放題は1980円より、飲み食べ放題は400円より、いずれもしゃぶしゃぶ・焼肉・鉄板焼、4

尚、同店では数々の特

典を集めた「グルマンド

・クラブ」を新たに発

足。入会金は千円、有効

期間は1年間。入会は直

接同店で。

しゃぶ花心から「ミックスコ

ース（しゃぶしゃぶ・焼肉）

¥1980を3名様で5組にブ

レゼント。希望者は住所・氏名

・年令・

・性別を記入して月刊

神戸っ子

■ 中央区北野町1-3 新神戸オリ

エンタルパークアベニュー3F

262-2800

つの味がセレクトでき

る。

尚、同店では数々の特

典を集めた「グルマンド

・クラブ」を新たに発

足。入会金は千円、有効

期間は1年間。入会は直

接同店で。

しゃぶ花心から「ミックスコ

ース（しゃぶしゃぶ・焼肉）

¥1980を3名様で5組にブ

レゼント。希望者は住所・氏名

・年令・

・性別を記入して月刊

神戸っ子

■ 中央区北野町1-3 新神戸オリ

エンタルパークアベニュー3F

262-2800

ト感覚を持ちこんでいるところが神戸らしい。

店長。全国各地の酒が100

種。ゆつたりした空間、静

かに流れれるジャズをBGM

に、伊万里の古陶器で一品

ずつ供されるおでんと酒に

ります。店主は舌鼓。心までホコホコ温ま

ります。

トアロードに、

朝がゆ・飲茶がOK！

この秋、トアロードに、

素敵な広東料理のTEITE

EがOPEN。「今、自分

が本当に食べたい味、本當

に行きたいた店で、自宅へ友

人を招くような雰囲気で

人を

嬉しくことに朝がゆ(日祝)

や飲茶を昼下りにやつてい

る。ランチタイムは600

円から。夜のフルコースは

3800円から。味は広東

料理の本格的な味に、ライ

ー

アートが飾られる

店内には月

度。

★ 大正ロマンの料理を表現

「美食俱楽部」神戸店

大正時代、陶芸と美食の

両面に異才を放ち、独自の

境地を拓いた芸術家、北大

路魯山人。その魯山人の心

ト感覚を持ちこんでいるところが神戸らしい。

店長。全国各地の酒が100

種。ゆつたりした空間、静

かに流れれるジャズをBGM

に、伊万里の古陶器で一品

ずつ供されるおでんと酒に

ります。店主は舌鼓。心までホコホコ温ま

ります。

トアロードに、

朝がゆ・飲茶がOK！

この秋、トアロードに、

素敵な広東料理のTEITE

EがOPEN。「今、自分

が本当に食べたい味、本當

に行きたいた店で、自宅へ友

人を

嬉しくことに朝がゆ(日祝)

や飲茶を昼下りにやつてい

る。ランチタイムは600

円から。夜のフルコースは

3800円から。味は広東

料理の本格的な味に、ライ

ー

アートが飾られる

店内には月

度。

★ 大正ロマンの料理を表現

「美食俱楽部」神戸店

大正時代、陶芸と美食の

両面に異才を放ち、独自の

境地を拓いた芸術家、北大

路魯山人。その魯山人の心

ト感覚を持ちこんでいるところが神戸らしい。

店長。全国各地の酒が100

種。ゆつたりした空間、静

かに流れれるジャズをBGM

に、伊万里の古陶器で一品

ずつ供されるおでんと酒に

ります。店主は舌鼓。心までホコホコ温ま

ります。

トアロードに、

朝がゆ・飲茶がOK！

この秋、トアロードに、

素敵な広東料理のTEITE

EがOPEN。「今、自分

が本当に食べたい味、本當

に行きたいた店で、自宅へ友

人を

嬉しくことに朝がゆ(日祝)

や飲茶を昼下りにやつてい

る。ランチタイムは600

円から。夜のフルコースは

3800円から。味は広東

料理の本格的な味に、ライ

ー

アートが飾られる

店内には月

度。

★ 大正ロマンの料理を表現

「美食俱楽部」神戸店

大正時代、陶芸と美食の

両面に異才を放ち、独自の

境地を拓いた芸術家、北大

路魯山人。その魯山人の心

ト感覚を持ちこんでいるところが神戸らしい。

店長。全国各地の酒が100

種。ゆつたりした空間、静

かに流れれるジャズをBGM

に、伊万里の古陶器で一品

ずつ供されるおでんと酒に

ります。店主は舌鼓。心までホコホコ温ま

ります。

トアロードに、

朝がゆ・飲茶がOK！

この秋、トアロードに、

素敵な広東料理のTEITE

EがOPEN。「今、自分

が本当に食べたい味、本當

に行きたいた店で、自宅へ友

人を

嬉しくことに朝がゆ(日祝)

や飲茶を昼下りにやつてい

る。ランチタイムは600

円から。夜のフルコースは

3800円から。味は広東

料理の本格的な味に、ライ

ー

アートが飾られる

店内には月

度。

★ 大正ロマンの料理を表現

「美食俱楽部」神戸店

大正時代、陶芸と美食の

両面に異才を放ち、独自の

境地を拓いた芸術家、北大

路魯山人。その魯山人の心

ト感覚を持ちこんでいるところが神戸らしい。

店長。全国各地の酒が100

種。ゆつたりした空間、静

かに流れれるジャズをBGM

に、伊万里の古陶器で一品

ずつ供されるおでんと酒に

ります。店主は舌鼓。心までホコホコ温ま

ります。

トアロードに、

朝がゆ・飲茶がOK！

この秋、トアロードに、

素敵な広東料理のTEITE

EがOPEN。「今、自分

が本当に食べたい味、本當

に行きたいた店で、自宅へ友

人を

嬉しくことに朝がゆ(日祝)

や飲茶を昼下りにやつてい

る。ランチタイムは600

円から。夜のフルコースは

3800円から。味は広東

料理の本格的な味に、ライ

ー

アートが飾られる

店内には月

度。

★ 大正ロマンの料理を表現

「美食俱楽部」神戸店

大正時代、陶芸と美食の

両面に異才を放ち、独自の

境地を拓いた芸術家、北大

路魯山人。その魯山人の心

ト感覚を持ちこんでいるところが神戸らしい。

店長。全国各地の酒が100

種。ゆつたりした空間、静

かに流れれるジャズをBGM

に、伊万里の古陶器で一品

ずつ供されるおでんと酒に

ります。店主は舌鼓。心までホコホコ温ま

ります。

トアロードに、

朝がゆ・飲茶がOK！

この秋、トアロードに、

素敵な広東料理のTEITE

EがOPEN。「今、自分

が本当に食べたい味、本當

に行きたいた店で、自宅へ友

人を

嬉しくことに朝がゆ(日祝)

や飲茶を昼下りにやつてい

る。ランチタイムは600

円から。夜のフルコースは

3800円から。味は広東

料理の本格的な味に、ライ

ー

アートが飾られる

店内には月

度。

★ 大正ロマンの料理を表現

「美食俱楽部」神戸店

大正時代、陶芸と美食の

両面に異才を放ち、独自の

境地を拓いた芸術家、北大

路魯山人。その魯山人の心

ト感覚を持ちこんでいるところが神戸らしい。

店長。全国各地の酒が100

種。ゆつたりした空間、静

かに流れれるジャズをBGM

に、伊万里の古陶器で一品

ずつ供されるおでんと酒に

ります。店主は舌鼓。心までホコホコ温ま

ります。

トアロードに、

朝がゆ

10日(祝) 10時~15時、総合運動公園駅周辺で写生大會も行われる。全て問い合わせは交通局管理課 331-7403まで。

★ 1500ml の大瓶シャンパンで、100回記念を祝う!

神戸ワイン・サロン(長島隆会長)が、10年前に誕生し、10月1日で100回目の例会を迎えることになり、記念パーティー「萬国葡萄酒の宴」長島隆会長を、相長楽園会館で開催する(6時より)

一番の呼びものは、1500mlの大瓶シャンパンをサーベルで開栓する難しい儀式「サベラージュ」。これを日本有数のグラント・ソーヴィエが披露する。また日本では前例のない巨大シャンパン(15l、普通瓶20本分、サロン創立の1979年産)の冷却法やサービス法も楽しみ。

当夜のワインの取扱いも戸ワインはもちろん、グルメ垂涎のロートシルトまで巨大瓶で揃いの圧巻。★居留地にはアンティーカーがお似合い



山西陶器店で開かれた
昨年の展示会

教室で教えていた、先生方が一堂に集まり、開催する「おんな30人会」。今年は記念すべき5回目を迎える。今年1月の本誌でも紹介されたが、ニットの塚田富美子さんを

★30人会展示即売会
編み物や染色、陶芸など
教室で教えていた、先生方が一堂に集まり、開催する「おんな30人会」。

★二十歳になりました

おしゃれになりました
20周年を迎えたメトロこ
うべが装い新たに先月4日
オーブン。明るい雰囲気が
話題を呼んでいる。
高速神戸し新開地を結ぶ
メトロこうべはショッピング
遊戯場等があるものの、地
下のマイナスイメージは
払拭しきれなかつた。が今

念すべき

7403まで。



コロニーハウス

内はヨー

ロッパに

古くから

伝わるアンティーク家具が

所狭しと置かれ、それぞれ

オリジナル" "エイジド"

"レプロ" と年代順に分類

表示されている。今まで素

人に扱いにくいとされて

いたアンティークを身近に

感じられる店になりそうだ

また10月8日にはリブラン

ウエストの復元工事が完成

11月初旬にはコロニーハウ

S2Fにレストランレトロ

がオープンとまだまだ居留

地からは目が放せない。

★今年も開催!

司会で教えていた、先生方

がお似合い

リブランエスト、プロ

ツク30、と旧居留地界隈の

新しい開発に力を入れている大丸神戸店が新たに「コロニー・ハウス」を開業した。店内はヨーロッパに

古くから

伝わるアンティーク家具が

所狭しと置かれ、それぞれ

オリジナル" "エイジド"

"レプロ" と年代順に分類

表示されている。今まで素

人に扱いにくいとされて

いたアンティークを身近に

感じられる店になりそうだ

また10月8日にはリブラン

ウエストの復元工事が完成

11月初旬にはコロニーハウ

S2Fにレストランレトロ

がオープンとまだまだ居留

地からは目が放せない。

★今年も開催!

司会で教えていた、先生方

がお似合い

リブランエスト、プロ

ツク30、と旧居留地界隈の

中心に昨年から準備を進め

ており、今年も力作が並び

そう。女性パワーは細やか

な心使いが特長。お値打ち

品がきっと見つかるかも??

● 10月29~30日 私立会館(JR・阪神元町下車、山側へ徒歩3分・11月1~7日 山西陶器店(市営地下鉄・神戸電鉄湊川下車、徒歩2分)

阪神元町下車、山側へ徒歩3分・11

月1~7日 山西陶器店(市営地下

鉄・神戸電鉄湊川下車、徒歩2分)

阪神元町下車、山側へ徒歩3分・1

回は見事なイメージチェンジ。通路に変身



レに変身
乗物や12星座が描かれて照明もグッとレベルアップされた。

ニューヨークのオフ・ブ

ローウェイで一一、〇〇〇回を超える世界最長ロングラン記録を更新中のミュー

クス」の日本公演が行われる。

味の素株式会社ではこの公演を記念して、「バル

スイート」ファンタスティ

クス」の日本公演が行われる。

ゼント保まで。10月10日当日消印有効、賞品:A賞ペアのご招待券50組

100名(10月26日まで)各10組(20名)に於て島SABホール。B賞オリジナルルコヒカッセツ。賞品の発送をもって発表にかかる。

★読者プレゼント

男性もおしゃれになつた

昨日、下着にも気を配ろ



ファンタスティック招待パーティーレゼント

実施する詳細は左記。

応募方法:「バルスイート」全商

品のバルマーク又は新バルマーク5

0円分以上同封の上、住民

氏名、年齢、電話番号、お買上げ

店名、ご希望の公演日を明記、封書

にて、〒104-91東京都中央区京橋郵便局私書箱80号、味の素㈱「バルス

ト係」まで

品の充実を図っているグン

ゼよりビキニブリーフを、

先着20名様にプレゼント。

●ハガキに住所、氏名、年齢、サイ

ズと神戸つ子と明記の上、大阪市北

区中筋西2-4-12梅田センタービ

ル11Fグンゼアパレル事業本部企

画販売一課「YGスポーツ」部

ト係」まで



神戸ボーピア博のミニ版ならまだしも似たりよつたりの促成栽培では動員は難しかろう。

ミニ版ならまだしも似たりよつたりの促成栽培では動員は難しかろう。

ミニといえど華々しく

独立宣言したミニ独立国

家群はいまどうなつてい

るのか調べてみるとブー

ム時は全国に二百近くあ

つたのが半分以上が休

盛り。ならシルクロード

瀬戸大橋、ホロンピア博

等々。だがいずれもが四苦八苦らしい。

ミニ独立国への格言集!!

イベントは全国的に花

盛り。ならシルクロード博

は、ムラ起しや過疎の活

れ、活性化の

性化は大統領、国王、ミ

ためがんばれ!!

(Y)

OKKO POST

★10月26日(水)午後1時30分よ

り神戸国際会館大ホールにおいて

明石科学大学の文化講演会が講

師河合雅雄(京大名譽教授)、日本

モンキーセンター所長、「人間を

生きる」(無料)申込明石短大(庶務課)ハガキで明南町2ノ1ノ50

★詩人の三浦照子さんが、美術書院より随筆集「三浦照子短編集」を出版。10月20日(木)午後六時半より、兵庫県教職員会館ホールで開む会が。

★小林信次郎氏(大阪工大教授)が、山口書店よりW・E・Bデュー

ボイス「黒い巨人」(A5判、450頁)を販出、上梓されました。訳

出作業は18年の歳月を要した力作。10月1日(土)の午後4時より、ホテルキャッスルプラザで、

★神戸電通の田代宏さん(が定年退職され、元町周月堂で9月30日夜励ます会が開かれました。

★鶴サン神戸映画社へ出向してい

た海津洋さんが、9月1日付でサンTVのプロデューサー室へ帰

専務が、9月1日よりダイエーサ

ービス事業本部に栄転され、菱井

良一氏が後任に。

★行動美術の中石塚さんが、ミラ

クル・ブルーの世界「シェリット・リンド」(抽象画集)2千円限定

5百部を刊行。写真集の出合いも

含めて。

★10月30日(日)午後3時より

で、徳田雅羅さん(ピアノ・ボ

カル)のチャリティコンサートが

三宮星電社南館カーラーラビ

ングホールで(3000円)

★元編集部員の中山義明さんと西

村知加恵さんが結婚されます。

★編集部の松井恵が、9月10日、

細田達也さんとゴールイン。おめ

でどう。

★写真家小山保氏の息子夫人が、

病氣のため九月一日に死去されま

した。心よりの御哀悼を

福原西国三十三所観音霊場

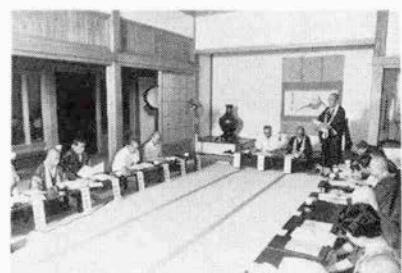


兵庫津復権振興協議会高田静夫会長のあいさつ

宝満寺で福原西国三十三所観音霊場会の総会が開かれており、福原西国もその一つ。その歴史は意外に古く、宝永七年（一七一〇）に書かれた「兵

宝満寺で福原西国三十三所観音霊場といえど京都を中心近く一円に点在する霊場が有名だが、実は各地に巡礼地が設けられており、福原西国もその一つ。

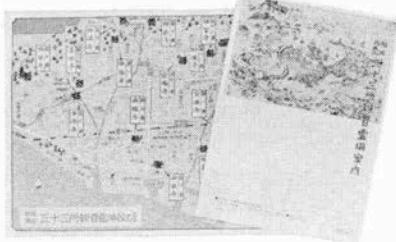
九月七日。



宝満寺で行なわれた福原西国靈場会総会風景

この靈場案内のイラストマップを出版した「兵庫津復権振興協議会」は昨年十月に兵庫地区の発展を願う地元の企業、自治会によって結成。郷土の伝統、史跡を見直し、その紹介に力を入れているが、今回の福原西国靈場の掘り起こしもその一環。兵庫地区の地盤沈下に歯止めをかけ、復興につながれば、という願いが觀音靈場通りという史跡探訪のスタイルと結びついた形になった。

総会では同協議会より一か寺につきイラストマップ一〇〇部の贈呈式を始め、集印帳の作成や靈場寺院巡拝についての諸問題等、スタートに当たつて円滑かつ、巡拝



靈場案内イラストマップ

者に喜んでいただくといった具体的な必要事項が約二時間にわたって意欲的に討議された。

全国葬祭事業協同組合	神戸葬祭事業協同組合指定代理店
本社／神戸市長田区松野通1—11—12	代表取締役 大谷徳風
078-621-0089	大谷晃世
7-5-4-8-5	全葬連認定「葬祭専門士」資格取得者
鈴蘭台支店／078-621-1592	株式会社

兵庫地区には古い寺院や史跡が沢山あり、この文化的な価値は相当なものであるにもかかわらず、戦災により伽藍全焼した寺院も多く近年復興されるまでその価値が知られないままになつていていた場合が今まで多かつた。



靈場会事務局長龜山泰嶽宝満寺住職

「庫名所記」にも登場する。

ピアニスト
伊藤ルミの

美男対談

第5回

神戸商船大学教授

井上和雄

人より遅れて 生きて来た。

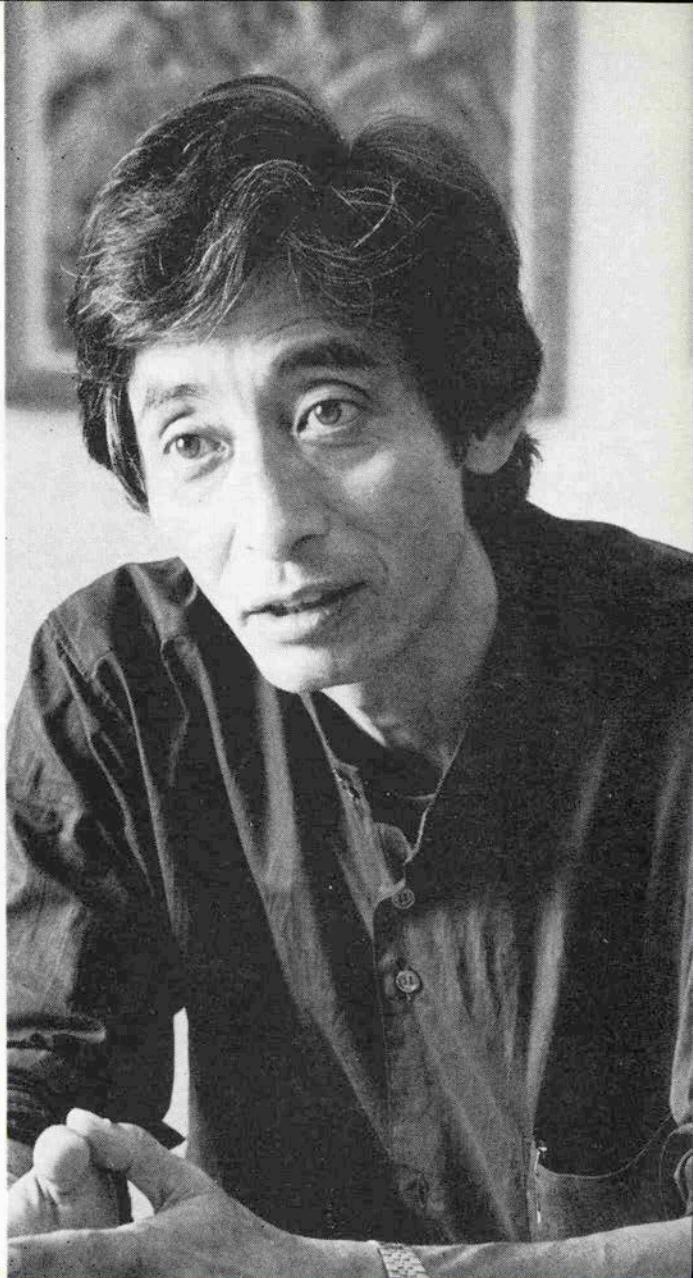
ピアニストとして活躍中の伊藤ルミさんをインタビューアーに迎えた“美男対談”第五回。ゲストは神戸商船大学教授・井上和雄さんです。もともと経済学がご専門ですが、昨年「モーツアルト心の軌跡」(音楽之友社)でサントリ一学芸賞を受賞、この七月にも「ベートーヴェン聴いの軌跡」(同)を出版、最近は音楽評論家としても活躍中の井上先生。今回は大阪中之島の“ふたり展”会場へおじやましました。

★自分自身が見えてくる

ルミ まずは二人展おめでとうございます。二年ぶりで井上さんの絵に接することができました…なんて、文章みたいなしゃべり方：(笑)

井上 なんか勘ぐるうね(笑)。そもそもルミちゃんとはもう何十年になるかなあ…。

ルミ 二十四年ぐらい…たぶん。だから、だいたいわかつているのでね、本当はインタビューしにくいくらいです。



井上 そうやねえ。

ルミ でもまあ、それはいいとして…。あのう、井上さんと私の出会いは音楽だったんですけども。コーラスの指揮者が井上さんで、私が伴奏をやっていた時があって…私が中学生で、念のために言つときます。

井上 中学生やつたんか。

ルミ そうですよ。中三ですよ。

井上 シューベルトのミサかなんかやつてもらつたな。

ルミ そう、ミサ曲。それを教えてもらつたのが、私

いまだに忘れられなくて。

井上 僕も覚えてるよ。4拍子がとれなくてね（笑）。

ルミ この頃やつと拍子がとれるようになりますよ（笑）。

井上 でも、そういう事を井上さんが覚えていて下さ

つて。それがまた、驚きなんですが、ま、出会いが音

楽で、いつの頃から吉田修二さんとの絵の二人展を開くようになられ。2年に一回ぐらいおやりになつてしま

すが、今回が八回めだからもう二〇年ぐらいですね。

井上 そうねえ。ルミちゃんはだいたい来てくれるよ

ねえ。

ルミ で、最近は文筆家としても活躍なさって…。『モ

ー・ツ・アルト 心の軌跡』を出されたのが去年で、それから経済学の本を出されましたね。

井上 ええ、この三月、「資本主義と

人間らしさ」（日本経済評論社）を。

ルミ 「モーツアルト 心の軌跡」ではいきなりサントリーアート賞を受賞な

さつて、その取り方っていうのも井上

さんらしくてね、本が出る前から「取

るぞ！」ってな感じで。「相当な自信家

なんだわ」なんて思つてたんですが。

私はまだ賞を取つていないんですが、

賞を取る立場にある者として決定前から「取るぞ」というようなことは言え

ないと思うんです。だから、その辺の心理状態にとても興味があるんですね。

井上 あのね、10年ほど前、モーツアルトのレコード全集がでた時に懸賞募集があつて、あの時も取つたわけよねえ。

ルミ その時も「取る」っておっしゃつてましたよねえ。

井上 うん…。それはねえ、書いた時にわかんねん。

「これ以上書けるやつはおらん」という…（笑）

ルミ そちら辺がねえ…（笑）。井上さんを知らない人が聞いたら、「なんてイヤなやつだ」と思うと思うんで

す。私もそう感じると思うの。ただ、知つてゐる人間が聞くと本当に「取るだらうな」と思えるんです（笑）。

井上 ほんでやっぱし取つたしな（笑）

ルミ だからその自信というのがね、どこから来るのかなと思つて。

井上 あのね、自信といふのかねえ…。僕にしたらね、

「自分が断然すばらしい」とかね、「誰にも負けない」とか、そんな自信のあり方とちょっと違うねん。他のものと自分のものと比べてみて、明らかに自分のものがいいとわかるんよね。もちろんサントリーアート賞なんかの時

「出会いは音楽で…」と伊藤ルミさん

はこちらは他の人の読む立場はないわけだけど、これまでの音楽評論みたいなものを僕は読んでるわけですよ。だからある程度想像がつくわけよねえ。その判断をする時にねえ、何て言うんだろうな「自分の色メガネで自分を見る」という感じは全くないから、だから、あつけらかんと言えるわけよ。「これは俺の方がいいで」と僕にしたら「見えてしまう」という感じやねんね。

ルミ でも普通そういう人だったら、すごく客観的で理性的でっていうような人に思えるんだけど、それがね、井上さんの文章とか人柄に接すると、すごく直観的で理いうか感覚的、主観的。

井上 思い込みが激しいとか、人から言われるんですよ。ただ、僕にとつてはね、主観的とか客観的とかいう区別が全くないねん。あのねえ、人間というのは実は主観を離れてものは見れない。でも、その主観にはね、自分が見ているもう一人の自分がおるねん。まあ、そんなことがいつもできるという訳じやないけど、ただ、自分が書いたものに関しては少くともみごとに見えてくるね。

★ベートーヴェンはいやらしいヤツ?!

ルミ 「モーツアルト:」はずっと『出すあてなしのラ

ブレターノ』みたいな感じで書きためてらして……

井上 10年間ぐらい。本のもとになる半分ぐらいかな。

ルミ でもね、すごいなと思つたのはね、モーツアルトを出してから経済学の本をパツとお書きになる……。

井上 いや、あれこそね、論文を六年間ぐらい書きためたものを本にしたからね、あれはそんなに苦労してない。ただ、経済学の本職としては当然、力を入れてるわね。日本の学界を相手にしてるわけやから、もちろん緻密な構成にしてるしね。

ルミ 井上さんは音楽も「ブタコレラ」(「ブダベスト」のものじり)っていう弦楽四重奏團を二五年間も続けていらっしゃるし、絵も二年に一回、個展を開くほど力を入れていらっしゃいますし、本業は適当にしていらっしゃ

る人かなと思ってたんですよ(笑)、申し分けないです。でも経済学の方もしっかりやつていらっしゃるんですね:(笑)

この七月には『ベートーヴェン 聞いの軌跡』という本もお出しになりましたね?

井上 あれはねえ、『モーツアルト:』が評判よかつたでしよう。だから受賞作家として売り出したい、という出版者の希望もあったんですね。ルミ ベートーヴェンと言えば、私の最も好きな作曲家の一人で、今のところモーツアルトよりも好きなんですが、どれくらいで書かれたんですか?

井上 だいたい四ヶ月ぐらいかな。ルミ りっぱな本ですねえ、内容も濃いし、人間性にも別の面から光をあててらして、私のような、ベートーヴェン崇拜者にも納得させるというか、その弱点をも描き出していく、とても説得力があるんですけど。

井上 いや、最初は全体の構想がぜんぜんなくてね。とにかく、ベートーヴェンというのはすごくいやらしいヤツや。

ルミ どうしてですか?

井上 そら音楽を聞いたら歴然としてるわ。

ルミ いやあ、そうかしら。

井上 でも、それだけいやらしい部分をいっぱい持つてるから、あのすばらしい音楽ができるんよね。そのカラクリをね、言葉でとらえたい。その思いだけで書き始めたけど、書き始めたらどんどん勝手に書けたねえ。あれはねえ、三章にわかれて、初期、中期、晩年とあるでしょ。で、初期の最後のところでベートーヴェンが耳をやられて、その耳をやられたことによつて彼は人間の宿命というか運命というものと、本当に深い所で対決する

ことができ、またそれによって新しい世界が開かれたんだ、という着想が書いてるうちにバーンと入つて来てね、それを文章にした途端にどんどん書けたね。

ルミ 何か、読んでたらベートーヴェンが生前、理解さ

れなかつたことを井上さんの筆を借りて言つてゐみたい
な気がして……

井上 でもベートーヴェンは「俺、こんなと違う」と
言つうんじやないかと思うよ。彼は「俺は最後まで自
分の力で生きて来たんだあって、自己崩壊なんてとんでも
ない！」とね。その意味では彼は僕の書き方を否定す
ると思うわ。

ルミ でもそこまで生きられたというのが魅力的！
井上 まあ、そうやね。そやけど、まわりの人間は大變
やで(笑)。

ルミ 芸術家の奥さんは皆たいへんだわ：。井上さんの
奥さんも苦労なさつてるんでしようか？

井上 苦労してるやろね(笑)。でも僕は芸術家ではない
もんな。学者がやつぱり僕の仕事やからね。

ルミ では学者としての井上和雄を自己分析して下さい
井上 いや、そう言われたら僕は横着だしね、気分屋だ
しね。勤勉じやないね。ただ、本当は学者も芸術家も同
じだと思うんです。どちらものすごくクリエイティブ
な仕事やしね、全く一緒やと思うわけよ。また、それが
僕の若い時の理想やったわけよ。

ルミ いつだつたか、井上さんの受賞パーティの時、井
上さんのスピーチの中で「僕はずつとドロップアウトだ
った。人より遅れて生きて来た」とおっしゃつてました
けど、あの言葉が忘れられなくて……

井上 そう。その「ドロップアウト」意識は抜けきれな
いね。だから、つらい人にはどうしても甘くなるね。

ルミ だから、私のコンサートの批評なんかも、ズバツ
と飾らない言葉で、言いたいことを言つて下さるんですけど、全然、傷つかないんですね。むしろ励まされて
るのがわかるんです。

井上 そうとつてくれるトありがたいね。

ルミ やはり、人間に対してあたたかいんですよ。こ
れからも厳しい批評をお願いします(笑)。本日はどうも
ありがとうございました。



連載小説 〈5〉

靴

西本衣江
絵／犬童徹

15

美保は何となく重い心をかかえ、家路へと向う。足先に木枯しのつめたさを覚えながら、家々の門燈に心せかれ、小走りとなる。姑の機嫌の悪い顔が瞼に浮かぶ。

家に帰ると、夫はまだ帰宅していなかつた。ほつとする。

姑に帰宅のあいさつをして、離れの部屋で着替えをしながら、今夜夫に、どのように話を切り出そうかと考える。

夜八時頃、夫は気嫌よく、帰って來たが、少し疲れているふうだった。

お風呂を済ませると、パジャマのまま、茶の間にどつかりと腰をおろし、姑のはいっているホームごたつの中へ膝を入れる。

△忘れたふりをして、ガウンを揃えておかなかつたのに。またこれだ。これがいやだ。すぐ離れへ行つてくれたらいいのに▽

仕方なく、ガウンを持って来て肩から着せかける。背中を膝頭で、ガツンとしてやりたい衝動にかられる。背

△“今日は疲れたからもう寝ます”と、どうしてこの部屋を素通り出来ないんだろう。一時間ぐらい、すぐたつてしまふのに▽

いらいらする。

△“お茶を”と言わなければならない

「お番茶でいいですか」

「ああ、疲れたから、ココアにしてもらおうか。お母さんもどうですか」

△“わたしも一杯いただきましょうか”

△“和夫を見る目がちがうのだ

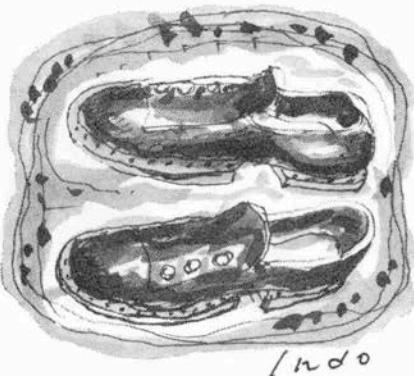
「今日は、成績はどうやつた」

姑の声を聞きながら、台所へ立つ。話の中へ入る気がしない。

△この調子だと、おそくなつて、今夜も、もう話が出来ないだろ▽

今まで、言うのを遠慮し、辛抱して來た。

△もうおそいから▽



△ 今夜は、つかれているようだから▽
△ 明日が早いから▽

△ とても機嫌がいいから▽

△ こんな楽しい雰囲気の時に……▽

△ と、のびのびになって、切り出せなかつた。
△ 考えてみれば、言いたいと思つてゐる時は夫にわかる
△ のかも？

夫は、私が言い出すことを、何となく恐れていますので
△ はなかろうか。切り出せないよう、わざと姑とゆつ
△ くり茶の間にいるようにし、離れに帰つて来ると、

△ 「ああねむい、ねむい」とか「疲れた」とか言つて、ベ
△ ットにもぐり込んでしまうのではないか。あれも、
△ 苦肉の策かもわからない。

△ 姑と私の間に立つて、夫が一番氣を使つてゐるようにも
△ 思えてくる。

△ 然し、だからといって、このまま、ずるずるとしませ
△ ることの出来る問題ではない。

△ 例によつて、夫は、おそらくまで姑と話しこみ、なかなか
△ 離れに帰ろうとはしない。
△ 「もう十一時になりますよ」



「ああそですか。知らん間に時間が経つ。明日の朝がまた
△ つらい。それでは……」

△ やつと、腰を上げる。

△ 明日の朝がまたつらい」という言葉に、今夜は特に夫
△ の計画にはまつたような気がして腹が立つ。わざわざ聞
△ こえがしに言つてゐるようにさえ思えてくる。
△ 廊下で、

△ 「お話をありましたのに……」

△ と、ふくれて見せる。

△ 「急ぐんか。疲れているから、明日にしてくれ」
△ 「例の如し」という結果になつてしまつた。

△ 美保は、意氣込んでいた氣持を、はぐらかされ、よからぬ方へと思ひが走る。

△ 閉じてゐるまぶたの裏が熱くなつてくるようだ。枕が当つてゐる耳のあたりのどうきがだんだんはつきり感じられてくる。何回も、寝返りを打つ。

△ 興奮は、なかなか静まらない。

△ 「明日こそきっと」と自分をなだめる。
△ 寝ついたのは、二時を過ぎていただろうか。

17

△ 夫を送り出し、朝の片付けを済ませ、ほつとして離れる部屋にかかる。

△ ガラス越しの太陽を背に受けて、新聞を広げる。

△ 一日のうちで、美保の一番大切な時間である。しみじみと幸福感に浸るのは、この時。
△ 母のこと、弟のことと思うのもこの時。

△ 体調の悪い時も、早くこの時間になりたいと思う。
△ 読み進んでいくうちに、ふと『近親相姦』という文字

△ が目につく。

△ 思わずかがみ込む。

△ 目がぱっと開く。背中の太陽に、何となく頭がぼおつ

△ としいていた時である。

“目立つ母子家庭”的見出しが、男性の約一割が近親相姦”の四段抜きの太文字が、一度に、さっと目にはいる。

“近親相姦の悩みは深い”の書き出し。

息をつめ、呼吸も忘れる。

“男性の約一割”というものは、男性から“性の保健相談室”へ持ち込まれた件数の約一割ということであるとかかる。

△そら、そうやろな。多過ぎると思た。

△ほっとする。それにも、今まで、

△そんなこと、本当かしら。

△疑がっていたことが、現実にこのように明かるみに出されたとなると、信んじざるを得ない。

「母子家庭の一人っ子に多いんです。過保護のあまり、

性衝動をよそへ向けないよう、母親が体をあてがっているんです……」

△“体をあてがう”なんて…。言いようもあるものだ。

△相談室主事の話が続き、

「ひどいのになると、三十才を過ぎ、妻子がありながら、母親の方が切れないケース。現場を目撃した妻から…」

記事に吸いついた美保の目は、又今の箇所を読み返す。

△顯著な傾向としては、同性愛についての相談が…。

△関係なし”と斜読みで進み、読み終って、またじっと最初の“目立つ母子家庭”的文字を見つめている。

△結婚前に「母一人子一人の場合、まま問題がある」ということを、友達から聞いていたし、何かで読んだこともある。然しそれは、他人様のことと、自分がそんな渦中になんて、思つてもみなかつた。然しそのことは、心の隅のどこかに生きていて、しらずしらずの間に、何かにつけて、事をそちらの方へ持つて行つていた。

△“まさか”という気持が、“ひょつとしたら”という気持になつて来ている。

うちの和夫は、唯親孝行というだけでなしに、お姑さんに、ちょっと氣を使い過ぎている。

新婚生活で、もっと楽しいものだと思っていた。友達から聞いた様子や、テレビドラマとは大分ちがう。

日曜日の外出というと、殆んど和夫一人で出かけ、一緒にということになれば、必ず姑を誘う。これも姑に遠慮してのことにちがいない。姑も「そんなら、お伴してもらいまひよか」と、必ずついてくる。結局自分がお伴のような形になり、楽しくもなし、疲れが残るだけである。

△なぜ、そんなに親に遠慮する必要があるんだろう。夫が先に出かけ、途中で出会つたといつて姑と連れて帰つて来たことがある。

△あの時のお姑さんの機嫌のよかつたこと

いつまでもお姑さんの顔や声が頭に残りいやな気持が続いた。

△結婚後、日が経っていないので、着る物もちゃんと揃つているのに、姑は和夫の肌着類などを、次々買つてくる。変つたのが目についたから……。

△バーゲンしてましてん……。

△この頃、こんながえんかいな……。

△妻の役目”と思つていたことを、先々にされる。はじめは「有難うございます」と、受取つていたが、

△またか”と思うようになる。

△まだ手を通してないものもあるんですね」

△というと、「男の肌着のくたびれているのは、みつともない」と言う。

△はじめは“そんなものかな”と素直に受け入れていたが、だんだんいつもの美保は姿をかくし、△清潔で、破れでさえなければいいのに。どこで人に肌着を見せるんや△と、腹がたつようになつてくる。

△自分が家族のためにとつくった夕食。和夫が食卓につくと、何時つくったのか、何時買って来たのか、

△あんたの好物やで

と言つて出して来て、和夫の手元に並んでいるものを

広げて、目の前に置く。

和夫も、

「うわあ、こりや有難い」

と、大きよに喜ぶ。

和夫と姑は、見えぬ糸でつながれていて、自分は、そ
のらち外に置かれているようだ。

おとといの夜半。

確に姑が離れの部屋の前の廊下を、行つたり来たりし
た。ぱっちりと目がさめ、神経が自然にそちらへ集中し
た。足音を忍ばせているようになえ思えた。

便所は姑の部屋の側にもちゃんとある。

わざわざ遠い離れの便所に来る必要はない。

今までにも何回かあつた。

和夫は、全然気付かぬ気に寝ていた。

△今夜は、どんなことがあつても言おう▽

△そうだ。この新聞の記事を切り抜いて、机の上に置い
とこう。それを話のきっかけにしよう▽

新聞を片付け、切り抜きを机の上に置く。

咲ききそつていてる赤いミニシクラメンが、応援してくれ

れているようだ。

和夫を気嫌よくさせておく方が、話し易い。うんと、

ご馳走をつくろう。

心はずませて、買物に出掛けた。

18

夕方、和夫を玄関で迎えた美保は、
「今夜は、早く離れへ引きあげてね」

と、早口に言つた。

「何や、またあらたまつて」

何かをさぐらうとするような和夫の目つきを、つきは
なすように、

「話が……、後で……」

と、くるりと後ろを見せて、台所へ行く。

和夫は、今まで見たことのないような、美保の主張

を、その後姿に感じ、どきつとする。

△お母さんと、何どあつたんやろか▽

いつもと変らぬ夕食の様子に、ほつとしたが、食後美
保が、忙しげに、さっさと片付けごとをするので、和夫

は母に、

「日曜日の疲れが残っているのか、今日はどうも身体が



「え? なんですか?」

「あたりまえやないの。私が買いたいねん。男の人にはわからへんかしらんけど。そんなことにも、女の喜びがあるんよ。そんなことはつきりわからんかったけど、お姑さんにされてみて、わかつたわ」

「ふうん。そんなもんかいなあ。今度買うて来たら、『美保が買いたい言うてます』って言うたるわ」

「そんな言い方……。何かええ言い方ないかなあ、しようがない。お姑さんに考えてもらうために、辛抱するわ」

△大きな問題や。どうせ一波乱はある。覚悟せんと: 口をついて出る言葉は軽くなつたが、緊張感は増していく。

「新聞の切り抜き見た?」

「いいや、なんや」

「これ」和夫に手渡す。

太文字を見た和夫は、「お、ま、え。こんなこと考えとつたんか……」

記事に目を走らせながら、「あほやなあ……。それでかつかしどつたんやな。あほ

らしくて何んにも言われへん」

切り抜きを、机の上にぱいと放る。

「何でそんなこと思たんや」

「あんまり、お姑さんと仲よすぎるんやもん」

和夫はだまつて廊下に出る。

美保はどうつとする。

△おこつたかな

△あ、トイレだ

ほつとする。

トイレの中と和夫はぶるつと身ぶるいをして、

△あいつ、あんなことを考えとつたんか

親ばなれ△子ばなれ△何時か友達から聞いた言葉が

頭をよぎる。

トイレから戻つて来た和夫は、けろつとしていた。

(つづく)

重かった。年かな。今夜は早よやすみます。お先に…」

△じょうずに言える口、持つとうやないの△「ようあんなこと。『年か』なんて。しっかりしなはれや△

和夫が離れて引き上げてくれたので、美保もすぐ後から、

「お先に……。おやすみなさい」

「あんたも早寝でっか」

「はあ、すみません」

△仲のええこっちや△と小さい声。

姑のいや味に負けないよう、聞こえない振りして、

さつさと離れへ引き上げた。

今まで出来なかつたことを、今夜の美保はやつてのけた。

19

「話で何んや」

和夫の方から口火を切つてくれたので、ほつとする。

△土曜日の夜中に、お姑さんが廊下を歩いてはつたん、

あんた気がつかなんだ?△

△ばかり本筋へ切り込む。

△ああ、何んなことか。あれはお母さんのくせや△

△くせ?△

余りに思いがけない言葉に、美保は拍子抜けする。

△高校へはいつて、僕が離れて寝るようになつてからいつつもやつた。ふとんはねてへんか見にきよつたんや。

△そのくせが残つとんのや△

△うまいこと言うて△

△お嫁さんがおるのに、何んなことおかしいわ。私はいやや△もう大丈夫やから、來んように△て言うて△

△そんなこと言えるかい。そのうちだんだんのうなるやろ。実際回数は、へつて來てる△

△ちゃんと、知つていたんだ。知らん振りして……△こ

△あなたの肌着を買うて来てのんもいやや△